



# 那賀防火管理協議会会報

令和6年3月25日発行 第45号

編集・発行：那賀防火管理協議会事務局（那賀消防組合内）



線状降水帯 県内で発生!!

# 災害

災害現場の様子（那賀消防組合撮影）

令和5年6月1日から3日にかけて梅雨前線が西日本に停滞し、前線に向かって台風第2号周辺の温かく湿った空気が流れこんだため、大気の状態が非常に不安定となり、近畿地方、四国地方の太平洋側を中心に記録的な大雨となり、2日には和歌山県に初めて線状降水帯が発生し、和歌山県北部に水害や土砂災害などの深刻な被害をもたらしました。

和歌山県内の人的被害は死者2人、行方不明1人、重傷1人、軽傷4人、住家被害は全壊9棟、半壊27棟、床上浸水964棟、床下浸水2,131棟にものぼりました。

紀の川市についても大きな被害を受け、河川の氾濫、家屋の損壊、道路の寸断や土砂崩れが発生しました。

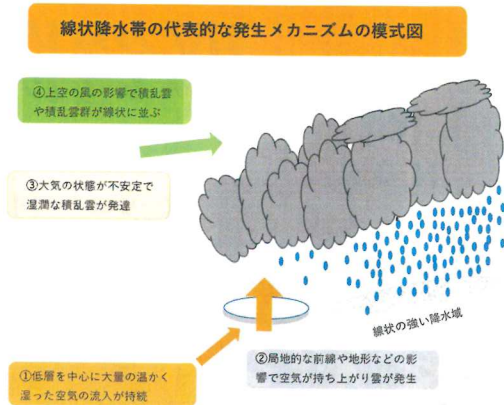
「平成30年7月豪雨」や「令和2年7月豪雨」で西日本を中心に大きな被害をもたらした「線状降水帯」ですが、平成26年頃から注目されるようになった気象用語です。

ここで改めて「線状降水帯」について考えていきたいと思います。

「線状降水帯」とは、次々と発達した複数の積乱雲が帯状に並んでいる状態で、上空の風と風がぶつかることで積乱雲が同じ場所でも発生して、ほぼ同じ場所でも通過もしくは停滞し続ける現象をいいます。

線状の雲の幅が20から50キロメートル、長さは50から300キロメートルに及び、数時間にわたり同じ場所に停滞することで大雨をもたらします。しかも過去の事例を見ると西から東へだけでなく、風向きによつては南から北にも発生しています。天気は西から東にというイメージがありますが、必ずしもそうでなく、線状降水帯は全国どこでも起こりうる現象で、気が抜けません。

気象庁では令和3年6月から、「顕著な大雨に関する気象情報」を発表するようになり、短期間で記録的な大雨をもたらす線状降水



な場所から全員避難」する段階です。もし自分が暮らす地域にこの「顕著な大雨に関する気象情報」が出た場合は、すぐに自分の命を守る行動を取る必要があります。ただし、すでに屋外への避難が危険と感じるほどの災害が起きている場合は、高所などで安全を確保することが最優先になります。



帯の状況をとらえ、5段階の警戒レベルの内、レベル4相当以上の段階で発表しています。

警戒レベル4というのは「危険

①予測が難しい線状降水帯から命を守るために、「情報の変化に気を付けるように常に注意を払い、警戒レベルが上がったら速やかな判断と行動が必要。」

線状降水帯がもたらす災害への対処法

2つの違いは「積乱雲の形状と雨の降る範囲・時間」です。どちらも大規模な災害を引き起こす危険性があるものとして理解し、万全な災害対策を行う必要があります。

線状降水帯とゲリラ豪雨は、どちらも大雨が降る自然現象ですが、違いは次のとおりです。

線状降水帯…線状に伸びた**複数**の**積乱雲**が発生し、**長時間広い範囲**で激しい雨が降る。

ゲリラ豪雨…1つの積乱雲が発生し、**短時間で局地的**に激しい雨が降る。

		線状降水帯と	
	ゲリラ豪雨の		
違いについて			

②頑丈な建物に避難する

豪雨を降らす積乱雲は、同時に雷や竜巻、ひょうなども引き起こす可能性があり、傘をさしていても屋外は危険であるので、外出中の場合は、鉄筋コンクリートの頑丈な建物に避難しましょう。

また自宅にいる場合でも、浸水



【河川付近や低地では浸水の危険性が高まる】

【大雨により山沿いでは土砂災害の危険性が高まる】

☆自治体から発表される警戒レベルより、多くの場合は気象庁から先に、防災気象情報が発表されるので、自治体からの警戒レベルを待つていなくても、自ら情報を入手し、早い目に避難開始の判断をすることも大切です。

に見舞われることがあります。避難する場合は、浸水してしまつてから水の中を徒歩で避難するのは危険が伴いますので、浸水が始まる前に避難することが大切です。ケガをしないよう夏でも長袖、長ズボンを着用し、履き慣れたスニーカーを履くなど、動きやすい服装がよいです。長ぐつは水が入ると動きづらくなるため、避難時、着用は避けましょう。

また、避難が困難で自宅にとどまる場合は、斜面から離れた側の2階以上の部分にとどまるようにしましょう。



↑やむを得ず避難するときのポイント

☆荷物を持つときは、両手がふさがらないようにリュックサックで

☆ケガをしないように長袖・長ズボン

☆長ぐつは避け、履き慣れたスニーカー

☆冠水している場所は危険なので、足元を確認するための傘や杖を持つ

☆できるだけ2人以上で行動する

③地下・水辺から離れる  
大量の大雨によって、河川の急な増水や、地下街の浸水などの水害が起こる恐れがあります。浸水したときに歩ける水位の限界は、

ひざの高さまでといわれています。

足首程度の浸水でも、流れが激しいときは危険なため、地下などのような低所や水辺にいた場合は速やかに避難しましょう。

また、川の上流のほうで雨が

降った場合は、大量の水が一気に流れる鉄砲水となって下流に流れてくる可能性があります。そのため、川の近くにいる時は、今自分がいる場所が降っていないくても、油断せずにいち早く情報入手して避難しましょう。



↑危険回避となる鍵・情報収集

【キキクル】

気象庁が提供する「キキクル」は、大雨や洪水によって「土砂災害」「浸水被害」「洪水災害」が起こる可能性のある地域を、5段階に色分けして地図上に表示してお

り、今、どこで、どのくらい危険度が高まっているか一目で確認できます。

【あなたの街の防災情報】

これも気象庁が提供する防災情報で、都道府県・市町村単位で設定・登録ができ、現在発表されている注意報・警報といった防災情報や、雨の状況を細かく確認することができます。

近年、多発傾向にある「線状降水帯」。しかし、天気予報や防災サイト、アプリなどを活用し備えれば、災害リスクを大幅に減らすことができます。

災害が来てからでは、慌ててしまいうまく活用できません。事前にチェックをして、いつ発生するかわからない豪雨災害に備えましょう。





表彰式会場の様子



消防組合防災ひとづくり事業の  
標語部門へ応募協力



今年度は、「防火・防災・救急ポスターの部や消防車・救急車の写生画、子ども防災博士意見発表会」「地震防災標語の公募」と、すべての部門で開催されました。表彰式および展示会は、12月2日・3日に紀の

川市粉河、粉河ふるさとセンターにおいて盛大に開催されました。

地震防災標語の部には、合計2,169点の応募があり、那賀防火管理協議会からは、215点の応募を行いました。

標語審査委員会による厳正なる審査の結果、那賀防火管理協議会の会員も表彰を受けました。今回入賞された方は次のとおりです。



展示会場の様子

最優秀賞

地震防災 知識と備えの 二刀流

パナソニックエナジー株式会社モビリティ

エナジー事業部 和歌山工場

(堀口産業株式会社)

大川 武志



優秀賞

意識せよ 地震火災は アポ無しだ。

パナソニックエナジー株式会社モビリティ  
エナジー事業部 和歌山工場(堺総合サービス)  
高橋 裕喜

災害時 救いは備えと 地域の絆

医療法人彌栄会 やよいメディカルクリニック  
脇田 大地

秀作

まず避難 生きる選択 最優先

パナソニックエナジー株式会社モビリティ  
エナジー事業部 和歌山工場(UTエイム株式会社)  
梶 健司

出先でも 必ず確認 避難場所

医療法人彌栄会 介護老人保健施設 やよい苑  
田中 義人

普通救命講習会

令和2年からコロナ禍の影響もあり、中止や代替訓練として短縮した講習会となっておりましたが、ようやく普通救命講習会が7月19・20日に開催されました。2・3年に1回の再講習の方もコロナ禍の間、受講することができなかつたので、多くの方が受講されました。



# 第19回消防操法大会



今年、コロナ禍の影響から延期や代替訓練で大会の開催が滞っており、4年ぶりとなった今年、10月24日紀の川市花野、紀の川市民体育館西側駐車場において、第19回消防操法大会が無事開催されました。



打田若もの広場から紀の川市民体育館の西側駐車場へ

令和元年の第18回大会以降、コロナ禍の影響から延期や代替訓練で大会の開催が滞っており、4年ぶりとなった今年、10月24日紀の川市花野、紀の川市民体育館西側駐車場において、第19回消防操法大会が無事開催されました。

最後に株式会社共栄テクシードの清水貞亨さんが、「私たち選手一同は、消火技術の向上を目的に訓練を行ってきた成果を、精一杯発揮することを誓います」と力強い宣誓を行い、各競技が開始されました。今回から1号消火栓操法と屋外消火栓操法が各年の実施となり、すべての種目で、火災を自動火災報知設備が発報することで覚知し、受信機で場所の確認をしてから現場の確認、19番通報、初期消火とい



トロフィー返還

大会当日はすっきりとした秋晴れで、開会式では前回(第18回)大会の各種目1位の代表チーム(1号消火栓操法の部)近畿大学生物理工学部から優勝トロフィーが大会顧問の中芝消防組合管理者に返還されました。

公式練習で大会に向け訓練をする過程で、消防設備(消火栓・消火器)の使用手法や放水・消火に関する技能・知識を習得されているので、自助を実践できる自衛消防隊が増えていると実感でき、とても頼もしいことと感じました。ご参加いただいた選手の皆様や応援に来られた各事業所の皆様、関係各位、長時間にわたりご苦勞様でした。今後とも各種災害の防止に取り組み、職場での防火防災対策の徹底をお願いしたいと思います。

う流れで各事業所内で役割分担された人員が火災に対応するという操法に統一させていただきました。基本を習得していただき、より多くの自衛消防隊が火災対応できるようにになっていただけるようにとの思いです。



消火器操法から代表して選手宣誓



各種競技の様子



第1位 近畿大学生物理工学部  
 第2位 紀の川市役所  
 第3位 岩出市役所  
 特別賞 株式会社デュプロ  
 和歌山事業所



冠 屋内消火栓1号栓の部



冠 消火器操法の部

第1位 公立那賀病院  
 第2位 紀の川市役所  
 第3位 社会福祉法人皆楽園  
 特別賞 医療法人共栄会名手病院



冠 屋内消火栓2号栓の部



令和元年の会員研修以降、コロナ禍で中止となっていました。4年ぶりに再開することができ、10月31日に大阪市のあべのハルカスと、堺市の堺市総合防災センターにて研修を受けました。  
 ハルカスは通常入ることのできないバックヤードツアーで、超高層ビルの耐震・免振構造や光と風を活用した省エネについて学びました。  
 堺市の防災センターでは、実際の火を使った消火器の訓練や煙体験、心肺蘇生など基本的な研修を受けました。参加された16名の会員さんは熱心に受講されていました。

会員視察研修

第1位 紀の川市役所  
 第2位 紀の川市役所  
 第3位 株式会社共栄テクスード  
 特別賞 紀和化学工業株式会社  
 貴志川工場

那賀消防組合消防出初式

1月13日、令和6年那賀消防組合消防出初式が、紀の川市花野、紀の川市民体育館において開催され、那賀防火管理協議会会員20事業所78名が参加しました。

地震災害時の救出救護訓練

コロナ感染症で止む無く中止となっていた救出訓練ですが、5年ぶりに実施の運びとなり、2月20日、那賀消防本部北側駐車場にて実施しました。

元日に発生した能登半島地震の影響もあり、多数の会員の方が参



加されました。

家が倒壊し家財などの下敷きになった要救助者やブロック塀の下敷きになった要救助者を救出する訓練が行われました。

20事業所35名の参加者は真剣に訓練に取り組まれていました。



今回の地震は新年の祝賀ムードであった正月元日に起こりました。多くの方々が被災され避難生活之余儀なくされています。

大震災が起こりしばらくの間は地震に警戒したり、意識することがありますが、平穏な期間が長期化すると警戒心が緩みがちになります。今回、改めて災害はいつ起

こるかわからない、常に対策や備える必要がある、と再認識させられました。

懸念される南海トラフの巨大地震もいつ発生するかわかりません。

事業所はもちろん自宅に関して、多種多様化する災害に備える時期に來ていると感じた救出訓練でした。

災害義援金 10万円

那賀防火管理協議会から災害義援金を和歌山県をつうじて、石川県に届けさせていただきました。一日も早い復興をお祈りいたします。



那賀振興局にて

那賀防火管理協議会役員名

- 会長 医療法人共栄会 名手病院 参与 笠松 正志
- 副会長 株式会社台和 和歌山工場 課長 駒阪 康典
- 副会長 医療法人富田会 富田病院 事務長 楠山 隆也
- 監事 株式会社メイワ 取締役 岡 徳治
- 監事 ホテルいとう 取締役支配人 北田 信幸
- 理事 パナソニックエナジー株式会社 モビリティエナジー事業部 和歌山工場 和歌山拠点 拠点長 花岡 茂
- 理事 近畿大学生物理工学部和歌山キャンパス学生センター 参事 中道 芳正
- 理事 紀の川市役所 総務部次長 松井 孝作
- 理事 デュプロ精工株式会社 製造部 小倉 賢巳
- 理事 バンドー化学株式会社 和歌山工場 工場長 小川 宜範
- 理事 和歌山ノークョー食品工業株式会社 桃山工場 工場長 岡本 知樹
- 理事 紀和化学工業株式会社 貴志川工場 工場長 田中 雅宣
- 理事 医療法人殿田会 参与 米田 直史
- 理事 岩出市役所 総務課長 西浦 正員
- 理事 社会福祉法人 皆楽園 総務課長 亀田 忠志

令和5年10月1日現在